

Campus Life

No.170 2016.9





ご挨拶

—「日本一教育力のある
大学」の一翼を担う—

日本大学国際関係学部長

渡邊 武一郎

平素は、日本大学国際関係学部並びに短期大学部（三島校舎）の教育活動にご理解とご協力を賜りまして、誠に有難うございます。

本年度は、国際関係学部774名、短期大学部（三島校舎）150名、専攻科19名と合わせて943名の新入生を迎える事ができました。新入生の皆さんが毎日充実した学生生活を送っていることと存じます。

国際関係学部では英語特別クラスの学生が、6月に行われた日本大学英語弁論大会にて、優勝、準優勝、第3位を全て独占するなど、3年目に入った英語特別クラスの成果が現れつつあります。また、全国ロシア語コンクールでも、外国語学部やロシア語学科に学ぶ他大学の学生と競い合い、第4位奨励賞を獲得するなど、外国語教育でも着実に実績をあげ始めています。

昨年度三島高等学校との高大連携講座として紹介させていただいた、ドイツ語とフランス語による複言語

の講座を今年度より国際関係学部で始めました。ドイツ語をA.H.バウマン先生、フランス語を橋本由紀子先生にご担当いただき、二人で息の合った授業を展開していただいています。また、文部科学省のトビタテ留学JAPANにも、国際関係学部の学生が1名採択されました。今年度からスペインへの交換留学生の派遣も始めて、世界に繋がる国際関係学部の発展に努めています。

今年度から国際関係学部国際関係論の高橋力也先生、スポーツ総合の塩梅弘之先生を新たにお迎えしました。短期大学部（三島校舎）には、調理学の担当として岩崎裕子先生を、解剖生理学の担当として安西なつめ先生に加わっていただきました。

7月21日には総合体育館が竣工し、日本大学田中英壽理事長、大塚吉兵衛学長はじめ、多くのご来賓のご臨席を賜り竣工祝賀会が実施されました。この度完成した総合体育館は、1階に約760席の食堂と多目的運動場、2階にバスケットボール・バレーボールのコート4面分を容れるアリーナ、3階には観覧席と245mのランニングコースを備える、静岡県内でも最大規模を誇ります。この総合体育館は学生、生徒たちへのアンケートにより、桜アリーナと命名されました。今後は三島キャンパスのシンボルになると思います。

終わりに、2019年に創立130周年を迎える日本大学の伝統の下、「日本一教育力のある大学」の一翼を担う学部・短期大学部として、これからも発展し続けるべく精進することをお約束申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。

今後とも本学の教育活動に引き続きご支援やご指導をいただきます事を切にお願い申し上げます。



校友会について

—就職支援と
校友ネットワーク—

第11代国際関係学部校友会会長

横山 雅人

平成27年4月1日より第11代国際関係学部校友会会長に就任いたしました横山雅人と申します。

日本大学校友会は大学の近況を情報発信し、年1回行われる「全国校友大会」を開催するなど、校友の皆様と母校との絆を深める場として、現在全国に65都道府県支部、16学部別部会、職域別4部会、約80の桜門会、さらに米、韓国などの8海外特別支部から構成されています。また、準会員である現役学生のための、診療費助成制度や奨学金制度等、後輩への支援も積極的に行っています。

学部別部会の一つである日本大学国際関係学部校友会（旧日本大学三島同窓会）は三島予科・三島教養部・文理学部三島・短期大学部（三島校舎）・専攻科食物栄養専攻・国際関係学部・大学院国際関係研究科からの正会員をはじめ、特別会員・名誉会員・準会員で構成されています。国際関係学部キャンパスは昭和21年6月に三島校舎として開設し70年という長い歴史があります。

私は昭和60年に国際関係学部国際文化学科卒業の第3期生であります。初の学部卒業生の会長となりました。任期の中で二つのことに重点をおいていきたいと考えています。まず一つ目は在学生の就職の支援です。学部校友会では国際関係学部4年生及び短期大学部（三島校舎）2年生（ビジネス教養学科・食物栄養学科）並びに専攻科食物栄養専攻の学生を対象として就職の決まっていない学生に対して就職合同面接会を行っています。二つ目は校友にキャンパスに帰ってきてもらう取組です。学園祭に校友のための談話室を用意し、また、模擬店を出店します。毎月第4日曜日の朝には、校友有志で学校前の歩道の清掃活動を行っています。仲間が集まり、そして広がる。関心を持っていただき、活性化する。そんな校友ネットワークを構築していきたいと思います。

桜アリーナ（総合体育館）完成！！

「つどい」「つながり」「つむいでいく」というコンセプトのもと、
新しい価値を生み出す総合体育館が完成しました。
バスケットボール・バレーボールのコート4面分の大きなアリーナです。
様々な行事や体育の授業、部活などで使用します。

施設紹介



食堂（1階）



多目的運動場（1階）



ピロティ（1階）



アリーナ（2階）



エントランス（2階）



シャワー室（2階）



ランニングコース（3階）



観覧席（3階）

建築面積：4,745.36 m²
延床面積：8,232.80 m²
バスケットボール4面
バレーボールコート4面
ランニングコース（1周 245m）
観覧席

国際関係学部で新カリキュラム導入(平成28年度入学生より)! 充実した4コースで学びの道を明らかに

平成28年度入学生から新カリキュラムを導入しました。2年次以降は各学科4コースに分かれて、国際社会や国際交流の各分野で活躍しうするための理論と応用力を身に付ける専門科目を学修していきます。国際総合政策学科では、「国際関係コース・国際ビジネスコース・グローバルスタディコース・グローバル観光コース」の4コース、国際教養学科では、「国際文化コース・国際コミュニケーションコース・グローバルスタディコース・グローバル観光コース」の4つのコースを設置しています。

国際総合政策学科 ▶▶ 国際関係コース

現在、国家の安全保障の問題では、地域格差の拡大・民族対立や紛争・環境破壊など様々な問題が深刻化し、複雑な事態に直面しています。このコースでは、「国際関係・関連法規」、「安全保障」、「国際協力・関連領域」の科目群から専門の基礎を学び、国際社会の構造を多様な側面から捉える能力を修得することで、世界が直面する諸問題を解決できる国際的リーダーを育成します。

国際総合政策学科 ▶▶ 国際ビジネスコース

国レベルでは、環太平洋パートナーシップ(TPP)協定の件も含め、国際経済・自由貿易体制の強化が急務であり、高度な意志決定ができる能力の必要性が求められています。このコースでは「国際ビジネス」、「国際経済」、「財務・会計」、「情報」の科目群から、グローバル化する世界の経済活動と市場の仕組みや企業組織・経営などの基礎と応用を体系的に学び、法制や国際政治等の視点も加えて国内外のビジネス動向を的確に把握して、国際レベルでビジネスを主導していける人材を育成します。

国際教養学科 ▶▶ 国際文化コース

グローバル社会で日本人が持つべき素質・知識・能力としては、外国語によるコミュニケーション能力や海外の文化・歴史・価値観の差に興味・関心を持ち柔軟に対応する力、日本文化・歴史に関する知識などが挙げられます。このコースでは、「人文・比較文化」、「地域文化」、「言語文化」、「表現文化」の科目群を学び、様々な国と地域に息づく歴史・芸術・思想・宗教などの多様な文化を学びつつ自国の文化理解を深め、より広く多角的な視点から、地域・国・世界、そこに生きる人々を捉えることのできる、旺盛な探求心と創造的な思考力を備えた知的人材を育成します。

国際教養学科 ▶▶ 国際コミュニケーションコース

外国語によるコミュニケーション能力や多文化・異文化に関する知識の体系的な理解は、グローバル化する国際社会で活躍するために必要な能力です。このコースでは、自国の文化や社会についての深い理解に基づき、「国際交流」、「社会学」、「英語コミュニケーション」といった科目群を学び、国際社会の多様な他者と協働・共生するために必要なコミュニケーション能力を修得していきます。

国際総合政策学科・国際教養学科 ▶▶ グローバルスタディコース

現代社会の環境問題・人口問題・食糧問題などの諸問題を考える基礎である社会科学の知識を修得し、地域・国・世界における諸問題を分析・考察し、問題解決に向け積極的に自らの役割を果たせる人材を育成します。本コースの特長は、「開発」、「環境」、「国際交流」の科目群から専門の基礎を学び、昨今世界的な問題となっている開発問題や地球規模課題の解決を目指すところにあります。グローバル人材の養成や問題解決・政策立案し実行力のある人材の養成の必要性は、国レベルでの国家安全保障会議及び閣議において決定した基本方針である「国家安全保障戦略」においても、その必要性が示されています。

国際総合政策学科・国際教養学科 ▶▶ グローバル観光コース

21世紀における観光立国日本の実現を目指し、観光を通して異文化理解・国際交流を促進し相互の発展を図るため、観光政策・観光文化・観光経営・観光実務などの専門知識と技術を学び、国内外の観光旅行並びに観光産業の振興に寄与できる人材を育成します。本コースでは、「観光理論・実務」、「観光事業・政策」、「地域文化」の科目群から学修します。近年、富士山・葦山反射炉の世界文化遺産登録等により静岡県、特に伊豆・富士地域において外国人を含む観光交流客が増加しています。これに伴い、観光・運輸関連事業が活性化しており、この分野の学修は社会的な要請も高いと言えます。

複言語の授業開始 ～ドイツ語とフランス語を同時に学ぶ～

ギターとピアノ、二つの楽器を弾きこなすように、ドイツ語とフランス語、二つの言語を使いこなす楽しみを味わいます。今、複数の外国語を同時に学ぶことで自分の中に複層的な言語世界を築き、多角的な視点と高いコミュニケーション能力を育む「複言語主義・複文化主義」が注目されています。その中でもドイツ語とフランス語という初習外国語を、ひとつの授業で同時にふたりの教員から学ぶ試みは前例を見ません。この授業の中では英語も、そして日本語も、比較言語・比較文化的な視点で捉え直されます。未知の二言語を同時に知ること、それは二つの世界を並行して学ぶことではなく、様々な文化や言語、そこに孕まれた価値観が交錯する世界を発見することです。新たな言語体験を通して、多様な世界を感覚的につかむことを目指します。



短大トピックス

ビジネス教養学科

若者らしい旅行商品企画に挑戦 ～宮川ゼミの活動～

宮川ゼミナールでは、既存の商品にはない独創的で魅力的な旅行商品を企画し、またその旅行商品のプレゼンテーションを通じて、考える力、創造する楽しさ、コミュニケーションの大切さなどを身に付けることを目標に活動しています。

ゼミナールは、前期及び後期を通じて1年間の通年科目ですが、まず前期の中で旅行会社の旅行商品、つまりプロが作る旅行商品について研究します。それぞれの学生がこの商品なら参加してみたいという旅行商品を選び、その商品のテーマやターゲットなど多くの視点で分析し、それを他の学生の前でプレゼンテーションします。

後期には、前期の研究分析とプレゼンテーションで得た経験をもとに、これまでプロも作ったことがない旅行商品企画に挑戦します。若者らしいみずみずしい感性と大胆な発想力を生かした独創的な商品作りに期待しています。



食物栄養学科

地域連携

食物栄養学科では、地域の健康づくりを支援する多彩な活動と農産物を利用した地域の特産品開発など地域連携事業を行っています。

三島市との連携では、主に2つ活動を紹介します。

1. 「みしまヘルシー野菜スイーツ等開発事業」

地元の野菜を使ったヘルシースイーツ等を開発。地産地消の推進と共に、市民の健康づくりを応援して開発したスイーツ等は市内2店舗で販売されています。

①三島甘藷のプチケーキ バニラアイス添え

甘藷と人参を使用したスイーツです。

開発者は日大食物栄養学科学生×美食工房Be-Shockです。



②人参フロランタンとヤーコンスコーン

開発者は日大食物栄養学科学生×コンディショニングカフェCafe LOHASです。



2. 糖尿病予防のための料理レシピ集開発

三島市健康増進づくり課と食物栄養学科との共同で予防のためのヘルシーレシピを考案し、市民の健康づくりに役立っています。

富士宮市との連携では、「芝川ノリの保護・育成」事業

郷土の宝物として保護・育成することによって、「芝川ノリ」を活用した地域の環境学習や商品開発など、地域活性化のために利用できるように支援しています。



国際総合政策学科

私達の周りで日々起きている経済、環境、紛争などの問題は、今や特定の国や地域だけで生じる問題ではありません。それらの問題の解決にはグローバルな視点が必要とされています。本学科ではこうした問題に直面したとき、素早くその本質を見抜き、解決するための政策を策定し、実行することのできる人材を養成することを目指しています。

本年度より現代社会の環境問題・人口問題・食料問題などの諸問題を考えるグローバルスタディコース、21世紀における観光立国日本の実現を目指したグローバル観光コースという2学科の枠にとらわれず学べるコースを新設しました。(2016年入学者対象)

2年次後期(2016年入学者対象、2013年～2015年入学者は3年次から)からはゼミナールに所属、各専門分野を詳しく学び、国内外で様々な活動を通じて視野の広い行動力を養います。夏の海外研修では、フィリピン、ボリビア、ペルーなど各国に赴き、個人旅行では経験のできない地域研修を行います。

また本学科では年に数回、専門家をお招きし、学術講演会を実施しています。本年度の学術講演会では、国際協力機構JICA中部センター専任参事、コロンビア国領事、一般財団法人ベンチャーエンタープライズセンター理事長などにご講演いただきました。後期には「英国のEU離脱問題と日本」と題して講演を予定しています。

さらに将来、世界で有能な人材として働くための知識や技術、心構えを学習するために、県庁や市役所や地元の約50を越える企業や団体での就労体験ができる「インターンシップ」にも参加することができ、実社会での実務を積むことができます。こうしたカリキュラムを通じて国際人として国内外で活躍できる学生を育成します。



国際教養学科

国際教養学科では、語学のみならず多様な世界の文化に適應できる人材の育成を目指しています。そのためには、学生の間にもいろいろなものに触れておくことが重要なので、年ごとに異なる学外研修を実施しております。また、授業と連動した内容の講演を随時取り入れることにより、その道の専門家から、生きた情報を得る機会を提供してきました。

今年の学外研修としては、箱根のポーラ美術館ほかで、印象派の作品をはじめ化粧美の特別展を鑑賞しました。また、海外の文化の受容ばかりでなく、日本文化を発信するという点からは、例年伝統文化を代表する歌舞伎の鑑賞を行っています。今年の演目は、歌舞伎の演目の中でも特に著名な「碇知盛」でした。日本人として知っておかなければならない「平家物語」にまつわる作品を鑑賞できたことは幸いでした。後期にはミュージカル鑑賞も予定しています。

今年の講演会としては、「宗教文化」の授業でなされる、宗教音楽から派生したといっても過言ではない西洋のクラシック音楽についてのものを実施しました。また、「親族と婚姻論」の授業では、世界の婚姻の形を学ぶ中で、中国の結婚式で演奏されるという二胡の演奏を聴きました。さらに、この後、「環境社会学」の授業では、「自然との共生」という視点から、アフリカの熱帯雨林で行われているという「エコツーリズム」について、講演がなされる予定です。

このように、キャンパスの内外で、通常の授業が提供する以上のものを、様々な形で鑑賞し、かつ体験することを常に目指しています。これまで、国際教養学科の取り組みだけに限って触れてきましたが、両学科共通のものとして、海外への留学プログラムや海外の姉妹校からの来訪者による各種のプログラムがあることは言うまでもありません。体験型のプログラムにより、社会に出て物怖じすることなく活動できるようになることを狙いとしています。



平成28年度 国際関係学部海外ゼミナール

引率教員	研修先(国名)	研修期間(予定)
寛 正治	タイ	平成28年9月10日(土)～9月17日(土)
蓼沼 智行	米国	平成28年9月2日(金)～9月8日(木)
鄭 勛燮	韓国	平成28年9月4日(日)～9月10日(土)
福井 千鶴	ペルー、ボリビア	平成28年8月18日(木)～9月13日(火)
吉本 隆昭	ドイツ	平成29年3月5日(日)～3月13日(月)
小川 直人	台湾	平成29年3月6日(月)～3月10日(金)
角田 哲康	スペイン・イタリア	平成28年8月29日(月)～9月10日(土)
永塚 史孝	モンゴル	平成28年9月7日(水)～9月14日(水)
生内 裕子	カナダ	平成28年9月10日(土)～9月17日(土)
宗形 賢二	米国	平成28年9月5日(月)～9月12日(月)
安元 隆子	ロシア	平成28年9月8日(木)～9月17日(土)

短期大学部（三島校舎）学科だより

ビジネス教養学科

日本大学短期大学部（三島校舎）ビジネス教養学科は、半世紀以上続いた商経学科より名称変更し4年目を迎えました。旧商経学科の良い点は継続し、さらにキャリア計画能力の向上と同じキャンパスにある日本大学国際関係学部への編入学（3年次）をより効率よくする為の科目互換性向上をカリキュラムに反映させた点は、名称変更後の力強い学科の特色となっています。

学科では、ビジネス社会で即戦力となる人材を育成するために8分野（経済学、マーケティング、経営学、会計学、情報、ビジネス・スキル、観光ビジネス、国際関係）からなるカリキュラムで将来の進路目標に応じて学習を進めています。また、将来を見据えたキャリア形成を支援し、進路実現に向けた各種対策講座を実施しております。

平成27年度卒業者の進路状況は、就職者数13名、編入学者数40名でした。4年制大学への編入学者数の内訳は、日本大学国際関係学部へ33名（推薦編入学13名、一般試験編入学20名）、日本大学経済学部5名（推薦編入学3名、一般試験編入学2名）、日本大学通信教育部1名、他大1名（東京経済大学）で、編入学希望学生（卒業見込み対象学生）の編入学達成は100%となりました。これは、学科における編入学合格支援として、編入学対策講座（英語講座、小論文講座）、学科独自の編入学ガイダンス（専任教員による模擬面接指導等）、そして基礎ゼミナールでの各学生の編入学目標に合わせた専任教員による個別指導の結果です。

ビジネス教養学科は様々な大学より若干名ずつではありますが推薦枠を確保しています。例えば、日本大学経済学部からは学内推薦枠として3名（経済学科、産業経済学科、金融公共経済学科の各1名）、また特に強調したいのが、日本大学国際関係学部においては学内推薦枠として30名（国際関係学部国際総合政策学科20名、国際教養学科10名で2年生前期までに一定の成績を修めることにより学内推薦編入学の出願資格対象となります。）の推薦枠を確保しております。これらを合計すると学科定員数を上回る推薦編入学枠を保持し、希望学生にとっては4年制大学編入学への進路が大きく開けております。

就職希望学生への支援も充実しており、就職指導課による国際関係学部と短期大学部対象の就職指導講座は年間を通して開講されています。その講座数は60以上に及び、各講座では、就職活動に必要な多様な知識を得ることができます。学科においては、基礎ゼミナールでの各学生の就職目標に合わせた専任教員による個別指導はもとより、学科履修課程（キャリアデザイン、ビジネスマナー、夏季インターンシップ等）でも学生のそれぞれの就職目標達成のための教育・支援を学科の特色としています。



平成28年度 ビジネス教養学科学術講演会
「食の歴史とビジネス」講師 渡辺洋子先生

食物栄養学科

・1年生学生生活サポート研修及び学外研修

食物栄養学科では、新入生相互の親睦、さらに教員とのコミュニケーションを図り大学生生活がスムーズにスタートできることを目的としたサポート研修と基礎食品学等の専門的知識を深めることを目的とした学外研修を4月16日(土)に同時に実施しました。サポート研修では、グループワークを体験することにより、協調性や積極性を養う経験となりました。学外研修では、裾野市にあるヤクルト富士裾野工場の見学をしました。予防医学と健康長寿を目的として開発されたヤクルト誕生秘話、乳酸菌生理機能などの説明を受けた後に、ジョアの製品過程を見学し、衛生的な環境でより安全に作られているか知ることができました。

・2年生学術講演及び学外研修

学術講演は、食物栄養学科1・2年生を対象に毎年実施しています。平成27年度は10月10日(土)、静岡文化芸術学部学長の熊倉功夫氏に「和食について」と題して、世界遺産（ユネスコ無形文化遺産）に登録された経緯や和食の歴史、伝統的な和食等について説明をしていただきました。今年度も後期に開催予定で、現在内容を検討しています。一方、平成28年度の2年生の学外研修は、後期に三島市内のホテルでのテーブルマナー講座を予定しています。この研修では、学生時代には、正式なディナーでの会食の機会が少ないため、しっかりとテーブルマナーが身に付くことを目的として開催します。



1年生学生生活サポート研修及び学外研修



平成27年度学術講演「和食について」



専攻科食物栄養専攻

専攻科食物栄養専攻は、日本大学短期大学部食物栄養学科の卒業生や栄養士養成施設として認可を受けた短大あるいは専修学校の卒業生が進学できる、4年制大学の3・4年生に相当する学年の教育機関です。本専攻科では2年間、食と栄養に関する専門分野の講義や実習を学習することにより4年制大学卒業と同等の学士を取得することができ、大学院への進学も可能です。また、管理栄養士国家試験の受験に必要な年数に算入できるため、専攻科修了後2年間の実務経験を経て同試験の受験資格が得られます。

本専攻科は平成26年度入学者から特例適用認定専攻科として認定され、所定の単位を修得し、2年次に開設される学修総まとめ科目「特殊講義（専攻科）」において研究した成果を要旨にまとめて提出することにより、大学評価・学位授与機構より学士（栄養学）の学位を取得できるようになりました。本年3月、この特例適用による初めての修了生16名が学位を授与されました。

本専攻科では毎年、著名な食の専門家をお招きして講演会等を開催していますが、昨年度は日本ソムリエ協会会長の田崎真也氏による「ワインと食事・食を楽しむ」と題した講演会が開催されました。当日は田崎氏の軽妙なトークと豊富な話題によりあっという間に時間が過ぎ去り、参加学生の間で好評でした。

毎年晩秋の頃には静岡県中・東部の大学生が集う「富士山麓アカデミック&サイエンスフェア」（富士山麓A&S）が県内で開催されており、今年も専攻科生は各自の研究内容についてポスター発表を行う予定です。



昨年の富士山麓A&Sに参加した本学専攻科生

ドイツ留学 ～見る・聞く・感じる、そして学ぶ～

国際関係学部 4年 黒柳 綾子

私は3年次の9月から4年次の7月中旬まで、ドイツのハノーファー大学に留学してきました。この留学が、私にとって初めてのドイツだったので、当初は不安とワクワクした気持ちが入り交じっていました。しかし、不安な気持ちは一日で忘れ、日々の生活や大学での授業、ヨーロッパの国中を旅行、様々なイベントへの参加を通して得ることができた多くの経験により、今ではドイツが私の第二の故郷であると言えます。

この留学中、ドイツ人だけでなく、いろいろな国籍の人々と友達になりました。毎日彼らと生活していく中で、考え方の違いや習慣の違いに衝突することもありましたが、今では彼らは私にとって特別な存在です。もちろん留学を通して、ドイツ語や英語を伸ばすこともできました。しかしそれだけでなく、ドイツでの生活や、様々な経験、国籍の違う友達、私自身の考え方や物の見方を広くさせ、より積極的で、どこでも生き抜いていけるような私になったと思います。そして今、自分が成し遂げてきたことに、自信を持っています。この留学のすべてが、私のかけがえのない財産です。



留学で得たこと

国際関係学部 3年 増田 慎也

私は留学を通して2つの大切なことを体験できました。

1つ目は、英語力の向上です。留学が始まり、主にスピーキングを重点におき、リスニングやリーディングなどの能力も上げるよう努力しました。その結果、留学当初に比べ、徐々に日常会話が話せるようになりました。ところが、ある日のイベントで他国の留学生とディスカッションする機会があり、そこでまわりのレベルの高さに自分の甘さを実感しました。この経験で、挫折を乗り越え、モチベーションを高め、更なる英語力の向上を目標に努力するきっかけを見つけました。

2つ目はチャレンジ&アドベンチャー精神です。留学に行く前と今では、気持ちの部分が一番変わったと思います。文化の違いで、アメリカでは日本のような「察しの文化」がなく、言いたいことは声に出し、自分がしたい行動をします。こちらが発言しなければ自分の考えていることが理解してもらえません。この環境により、自分の考えを伝える訓練ができ、声に出すことで自分の考えがより一層明確化し、心のフットワークも軽くなりました。

英語を学ぶ上で半年間は決して長い期間ではなかったですが、いろいろな部分で成長することができました。帰国後も自分自身を成長させるために努力し続けたいです。



北京大学中期留学を通して

国際関係学部 3年 土屋 知洋

中国というと皆さんはどのようなイメージを抱きますか。大気汚染が酷い、食の安全性がない、マナーが悪いなど、悪いことばかり出てきませんか。留学に行く前の私も悪いイメージばかり先行してしまうことが多かったです。しかし、北京大学の学生たちと話していくうちにそのイメージが少しずつ変わっていききました。

北京大学ではサークル活動に参加し北京大学の学生と一緒にソフトボールをしていました。スポーツは言葉の壁を超えたものがありました。練習後は一緒に学校の外の民族レストランなどへご飯を食べに行くことや北京大学内の大会にも参加し、忘れられない思い出になりました。留学は語学力の向上だけでなく旅行なども自分で計画して行く事ができます。有名な万里の長城をはじめ中国には多くの世界遺産があり、交通網も整備されています。ぜひみなさんにも中国文化を見て、触れていただきたいです。

中国と日本は昔から深い関係があります。現在、中国と日本は領土問題などによって良い関係とは言えませんが、反日感情を抱く中国人の方は少ないです。これから先の日中関係は民間レベルの交流が大切だと感じました。



ティーチング・インターシップ・プログラムに参加して

国際関係学部 4年 堀之内 愛

私は、大学2年生の春休み（2014年度）にティーチング・インターンシップ・プログラムに参加し、ニュージーランドのニューブリマス市にあるDevon Intermediate Schoolに約2か月派遣されました。滞在期間中は、ホームステイをしながら現地の中学校で日本語や日本文化について英語で授業をしました。高校生の時の一年間にわたる語学留学の経験により、英語力はもちろん、苦労して乗り越えたカルチャーショックから身に付いた異文化理解力が大いに生かされました。日本人として誇りをもって自国の文化を教えることができる喜びと同時に、ニュージーランドの民族（マオリ族）のダンスやマオリ語などの相手国の文化を私自身も学ぶことで、文化を共有しあえる面白さを実感しました。大学で教職課程を履修しているため、毎晩遅くまでかかった授業の事前準備や、教壇に立って授業をすることで「教える」面白さや難しさを肌で感じることもできたのもとてもいい経験になりました。半年間にわたる事前研修で指導してくださった先生方やともに励まし合ってきた仲間、家族、友人に支えられ、このプログラムを通して、大学生活の最高の経験ができたことを、本当に感謝しています。卒業後も、日本の文化を世界に発信し、国際社会に貢献できる存在になりたいと思っています。



語学教育の現場から

英 語

英語科目は英語学力到達度テストによって自分の英語力に合ったクラスへ配属されます。毎回の授業は課題も多く厳しいですが、自分の力で上に伸びていけるよう全力でサポートしています。過去5年間の統計を見ても年次終了時には成績の伸びがみられます。学んで得た力をもって海外に出て様々な経験をしてほしいです。

英語特別クラス

英語Ⅰ～Ⅳを選択する学生のうち、クラス分けテストにおいて、スコア最上位者（上位5%以内）で、かつ当該クラスへ入ることを希望する学生のみで構成されたクラスです。大きな目標は「留学」で、その目標達成のため、TOEFL-iBT、ITPに特化した授業をはじめ、国際関係論入門や国際文化論入門といった専門科目、その他の科目も英語での受講を求められ、英語漬けの環境に身をおいています。TOEFL-ITPの成績が一年間で70点以上伸びた学生もあり、昨年は一つの基準である500点を超えた学生は6名でした。

ドイツ語

ドイツは現在、EU諸国の中で強いリーダーシップを発揮しているのはご承知のとおりです。ドイツ語もますます需要度が増しているといわれます。本学部では初修外国語のドイツ語について、伝統的に密度の高い少人数教育を実施し、成果を上げてきました。特色は、1年次最初の動機付けに始まり、生きたドイツ語（読む・書く・話す・聞く）の徹底的なトレーニングにあります。

フランス語

保護者の皆様の中には、「大学の第2外国語でフランス語をとった」という方が多くおられることと思います。現在でもフランス語の人気は根強く、本学部でも毎年80～90名ほどの1年生が履修しています。国際機関におけるフランス語の重要性にひかれて履修する学生が多く、また、ファッション・グルメ・旅行の「大国」であるフランスに憧れて履修する学生も少なくありません。

スペイン語

世界で2番目に多い5億人近くの人々が母語とするスペイン語は、英語と並ぶワールドランゲージです。英語と並びスペイン語の重要性が際立っており、2016年度からは「英語でスペイン語を学ぶクラス」が新たに設置されました。またヨーロッパ四大大学の一つであるスペイン・サラマンカ大学との交換留学など、多彩な留学プログラムでスキル・アップを後押ししています。

中国語

現在の日本では、中国語のスキルを持つ人材の必要性が確実に高まっており、中国人と日本人の教員が相互に連携しながら実践的なコミュニケーション能力の向上を強く目指しています。また、その基礎となる文法や語彙に関しては、教室での授業と自宅でのeラーニングを組み合わせたブレンド型学習のためのデジタル教材を使用し、学習内容も充実しています。結果として、学内外の弁論大会で優勝する学生も多いです。

韓国語

国際関係学部の韓国語受講者の中には、様々な留学制度を通じて実際に韓国の大学に留学する学生が年々増えつつあります。また、ここ数年間の傾向として、主に2年生以上の学生が、大韓民国の教育省が認定し実施する（年2回）韓国語能力試験（TOPIK）を受け、その多くは1・2級（初級）及び3・4級（中級）の資格を取得しています。

2016年度 留学実績

派遣交換留学

ドイツ……………3名	スペイン………4名
アメリカ……………2名	台湾……………1名
オーストリア…1名	中国……………2名
韓国……………2名	フィリピン…2名
コロンビア………1名	

中期留学

中国……………5名
アメリカ………14名
インド……………5名

認定留学

スペイン……………3名	タイ……………3名
アメリカ……………4名	ニュージーランド…1名
オーストラリア…4名	フィリピン……………3名
オーストリア………2名	フランス……………3名
カナダ……………8名	韓国……………1名

研究室探訪 ～アフリカと共に～

2003年に初めてアフリカの地を踏んで以来、タンザニアの中央部に暮らすサンダウェという人びとの暮らしについて「環境」と「生業」をキーワードに研究をしています。サンダウェは19世紀中頃まで狩猟採集を基盤に生活してきたと考えられています。現在では農耕に大きく依存していますが、自然資源を多用する暮らしの中で彼らが獲得してきた自然に対する知識や利用の技術には、いつも本当に驚かされます。私は、そうした自然との関係性が、生業活動の変化や、近年の彼らをとりまく急速な社会変容によってどのように変化する／しないのかといった点に関心があります。現在は、彼らの居住地域に、100キロ離れた都市住民の生活用水確保のためにダム建設が計画されており、彼らがどう対応しながら自分たちの生活を守るのか、私は彼らに寄り添いながら注視していくつもりです。

また2012年からは、タンザニア北部で狩猟採集生活を送るハツァという民族も研究対象にしています。ハツァは狩猟採集を続けながらも、近年は小規模に農耕や家畜飼養も行い、民族文化観光にも巻き込まれるなど、生計が多様化しています。私はその中でも観光に注目し、観光がハツァの食生活、居住形態、社会関係といった点にどう影響を与えるかを解明しようと試みています。

タンザニア社会は、私が初めて訪れて以来、たった13年の間に劇的な変化を遂げてきました。携帯電話はどこにいてもつながるようになりました。農村部ではソーラーパネルが普及して電気が使えるようになってきました。高等教育へと進学し都市へ出ていく子どもの数が激増し、まるで日本の地方村のように過疎化が進行する村が増えました。サンダウェもハツァも、そうした様々な変化になんとか追い付きながらも、一方で、地に足をしっかりとつけて自分たちの生活基盤となる生業活動を決して手放さないように、私には見えます。彼らの暮らしから、私たちの社会がどうあるべきか、学べることはたくさんあるのではないのでしょうか。



(助教 八塚春名)

退任された先生方 (平成28年 3月31日付)

国際関係学部		
国際総合政策学科	教授	水野 和夫
国際総合政策学科	特任教授	小林 通
国際総合政策学科	准教授	安藤 貴世
国際総合政策学科	准教授	横田 貴之
国際教養学科	助教	本道 慎吾
国際教養学科	助教	S. ドレイジ
国際教養学科	助教	J.A. フライバーク
国際教養学科	助教	P.A.R. ローワン

短期大学部 (三島校舎)		
ビジネス教養学科	短大教授	雨宮 史卓
食物栄養学科	短大教授	三橋 富子
食物栄養学科	短大教授	室伏 誠
食物栄養学科	短大助手	小嶋絵梨花

新任教員紹介



国際関係学部 国際総合政策学科
高橋 力也 先生

大学院修了後、外務省での勤務を経て、本年4月より本学に赴任いたしました。本年度は、国際関係論、国際法等の科目を担当しております。日々生起する国際問題は、学生の方々にとって、何か遠くで起きている、ややとっつきにくいテーマかもしれませんが、グローバル化の進む現代において、これから社会に出ていく学生が身に付けておくべき素養であるといえます。国際政治、国際法の問題に少しでも関心を持ってもらえるよう、外交の実務経験なども活かして、工夫を凝らした授業をして参りたいと思っております。



国際関係学部 国際総合政策学科
塩梅 弘之 先生

ドイツ・ケルン体育大学大学院を修了し、本校に赴任いたしました。スポーツ総合(実技)を担当しております。多様な人間社会で行われるスポーツはどうあるべきかを、スポーツ実技の授業を通して、学生と共に考え、学生自らに実践してもらい、国際社会で必要とされる能力を培ってほしいと思っています。

ドイツでは、スポーツを通して様々な人々と交流をしてきました。本校で学ぶ学生の皆さんには、国際社会の中で、多様な人々と共に生きていく上で、スポーツが果たす役割を知ってもらえるように努めます。



短期大学部(三島校舎) 食物栄養学科
岩崎 裕子 先生

本年4月より、調理学、調理科学、調理学実習を担当しています。

研究領域は食品のレオロジーです。人が食物を食べる際に感じる感覚に対して、機器を使って食品の物性を数値化、更に、摂食過程の口腔関連筋活動を測定し、関連性を検証します。食品の美味しさや食べやすさを、物性面より解明していきます。

栄養士を目指す皆さんが、おいしいものを作ることができる喜びを感じ、自らおいしさを追求できる知識と応用力を培ってもらえるよう、精一杯サポートしていきたいと思っております。



短期大学部(三島校舎) 食物栄養学科
安西 なつめ 先生

本年4月より、解剖生理学及び解剖生理学実験、解剖生理学特別実験を担当させていただきますことになりました。

人によっては、やや取り組みづらい印象や苦手意識を持たれることもありますが、解剖生理学は人体の構造と機能を学ぶ基礎であり、健康で健全な体づくりのために必須の教科です。例えば、栄養に関する知識や調理を学ぶ上で、消化・吸収に関する知識は欠かせません。栄養士など各分野のスペシャリストを目指す学生さんに、生命を維持する巧妙なメカニズムに触れ、少しでも人体に関心を持っていただけるよう、日々取り組んで参りたいと思っております。

震災を語り継ぐ

国際関係学部 3年 田畑 祐梨

宮城県南三陸町、私の故郷は2011年東日本大震災で壊滅的な被害を受けました。中学3年生だった私自身も家が流失し、家族は今も仮設住宅に住んでいます。高校2年生の3月に、震災の体験を伝える語り部団体を立ち上げました。現在も語り部活動を続けています。多くの人たちに支えられ、今までに約3万人の人たちに伝えてきました。震災から5年が経ち、東日本大震災は風化しはじめています。そんな状況だからこそ、私は被災をした若い世代が若い世代に語りかけることで、他人事を自分事にしてもらえると思っています。



大学では、異文化理解や国際交流について学んでいます。語り部を続けていく中で地方と都市部は学習の機会が平等ではないということに気づき、その問題を南三陸町から解決していきたいと思ったからです。家も故郷も消えて無くなり、未来も無くなったと絶望しきっていた私に希望をくれた人たち、そして、今も活動を支えてくれている人たちに少しでも恩返しできるように、これからも夢に向かって努力していきたいです。

全国ロシア語コンクール入賞

国際関係学部 3年 荏原 日和

私は6月に東京都で行われた全国ロシア語コンクールに出場をし、奨励賞をいただきました。テーマは「3月8日すべての女性に花束を！」で、ロシアの祝日「国際婦人デー」から日本の女性の社会問題を取り上げました。ロシア語は2年生から履修できますが、受講者は多くはありません。しかし意欲を高めるために当初から出場を目標にし、先生と約3か月かけて準備をしました。当日は25名が出場をし、ロシア語での質疑応答もあり、出場そのものが目標でしたが、審査員の方からも良い評価をいただきました。この経験は私を成長させたと思います。X o p o ш o!!



日本大学英語弁論大会優勝

国際関係学部 2年 戸高 晃

今回、日本大学英語弁論大会に、国際関係学部の代表の一人として参加させていただきました。スピーチのテーマは「文化」でした。簡単そうにみえて意外と難しいこのテーマに当てはまるスピーチを考えることにとても苦労したのを覚えています。結果として、優勝することができ、本当に嬉しく思っています。スピーチの指導をしてくださった先生方、そして英語を学びきっかけを作ってくれた両親に感謝の気持ちでいっぱいです。これからもチャンスがある限りたくさんのスピーチに挑戦していきたいです。



部活動報告

強化推進部

硬式野球部

- 静岡学生野球リーグ秋季リーグ戦 優勝
- 東海・北陸・愛知三連盟王座決定戦 ベスト4
- ドラフト会議にて、柿沼友哉が千葉ロッテマリーンズに育成2位指名を受け、入団

女子野球部

- 関東女子硬式野球リーグ戦 2部 13チーム中8位
- 全国大学女子硬式野球選手権大会（春・秋） 出場

クラブ・サークル

日本大学体育大会の結果

男子バレーボール部	優勝
硬式テニス部（男子）	3位
バスケットボール部（男子）	3位
バスケットボール部（女子）	3位

学生相談室から

自信を持とう！ 対人関係・学業で思い悩む学生たち

正門を入ってすぐ、守衛所の奥、保健室の前に学生相談室があります。火曜日から金曜日まで、臨床心理士の資格を持ったカウンセラーが、学生の相談に対応しています。年間に50～60名の学生、保護者、教員が、学生生活に関する様々な相談に訪れています。

相談の中で多いのは、対人関係に関する悩みと学業についての悩みです。対人関係の悩みでは、周囲に過剰に気を遣って疲れてしまう、コミュニケーションがうまくとれない、他人と接するのが怖いという悩みが多いようです。対人関係は、どの年代にとっても悩みの大きな部分を占めます。大学では、高校までと違ってクラスなどの枠組みがない中で、自分の力で対人関係を作っていかなければいけない部分があります。それに戸惑い、人との接し方、距離感に悩む様子がうかがえます。最近の学生さんの自己紹介で「私は人見知りですが、皆さんと仲良くなりたいので、どんどん話しかけてください」というのが多くなりました。仲良くなりたいけれど、自分から働きかけるのは怖いという心理の表れかもしれません。

学業に関する相談も多いです。入学したものの、思っていた以上に学業面で厳しく、自信を失くしたり、自分の適性や将来について悩み始めることがあります。学業面でついていけないと感じ、自信を失くしてしまうと、学生生活が面白くなく、対人面でも積極的になれなくなる場合もあります。

対人面でも学業でもいえることですが、他人の良い面や、うまくできていることと、自分を比較し、自分はダメだと思いがちな学生さんが多いと感じます。今までの生活の中で、「成功した」「うまくできた」と感じる体験が少なく、自信が持てないことが一因かもしれません。様々な出来事に関して、できなかった面だけでなく、できた面にも目を向け、小さな成功体験を積み重ねることで、自信につなげることも重要だと感じています。

大学生は、大人になるちょっと手前で、いろいろなことに悩む時期でもあります。充実した大学生活を過ごせるよう、手助けができればよいと思っています。

(学生相談室運営委員長 伊坂裕子 記)

奨学金情報

【日本大学三島後援会特別奨学金】(秋期募集)

区分	募集時期		応募資格	給付額	採用予定者
下宿	(春期)	6月	学部・短大・大学院・専攻科の学生 自宅通学不能な地域からの下宿学生	120,000円	各期 100名程度
	秋期	11月			
新幹線通学	(春期)	6月	学部・短大・大学院・専攻科の学生 新横浜駅以东、静岡駅以西からの新幹線通学生	静岡駅からは80,000円 その他は120,000円	
	秋期	11月			

◎詳細についてはHPをご確認下さい。

年間行事予定 (平成28年度)

9月19日(月) 夏季休暇終了	11月12日(土)	1月21日(土)
9月20日(火) 後期授業開始	短大ミニオープンキャンパス	短大ミニオープンキャンパス
9月29日(木) 9月卒業学位記伝達式	12月23日(金) 天皇誕生日	1月28日(土) 後期授業終了
10月4日(火) 日本大学創立記念日	(月曜振替授業)	1月30日(月)～2月1日(水) 定期試験
10月10日(月) 体育の日 (月曜授業)	12月24日(土) 年内授業最終日	2月16日(木)～17日(金) 追試験
国際ミニオープンキャンパス	12月26日(月) 冬季休暇開始	3月3日(金) 卒業・修了決定者発表
10月28日(金) 富桜祭準備 (休講)	1月10日(火) 冬季休暇終了	3月25日(土) 卒業式
10月29日(土)～30日(日) 富桜祭	1月11日(水) 授業開始	学位記等伝達式
10月31日(月) 富桜祭後片付け (休講)	1月14日(土)～15日(日)	
11月3日(木) 文化の日 (木曜授業)	大学入試センター試験	

就職と就職活動

就職指導課長 石垣 誠

1 就職状況の概要

平成27年度卒業者の就職率は、国際関係学部で94.9%、短期大学部（三島校舎）で86.7%となりました。就職率は、就職を希望する者に占める就職者の割合を表すものです。このほかに、卒業者就職率（就職者／卒業者）という指標もありますが、就職を希望しない者や国家試験等受験者、大学もしくは大学院進学者、海外留学者等も分母に含まれるため、大学の就職部門では先の就職率を公表することが一般的です。

平成27年度の全国の大学新卒者就職率は、文部科学省の状況調査で97.3%という高い数値を示しました（平成28年4月1日現在）。今年度の内定状況も引き続き好調感を維持しており、就職の難易度が低くなってきているというイメージが強くなりつつあります。しかし、これはあくまで統計値であり、学生一人ひとりが望んだ結果になっているかどうかは別話です。

2 「なぜ就職するのか」

極めて単純な問いですが、生涯を通じたキャリア形成を考えると、これほど重要な問いもないと言えます。仕事を持つ最も重要な目的の一つは、「独立して生計を維持する」ことでしょう。しかし、職業を選択する過程では、この目的だけでは足りません。長きにわたる職業生活で自分が最も重視する価値観は何かについて、自己分析や自己省察を通して見つめなおす必要が出てきます。どのような仕事をしたいのか、自分の性格、能力、価値観に合致する職業は何か（適合感）、そしてその職業の将来性や社会貢献度、あるいは勤務地、給与、福利厚生など様々なファクターを就職活動開始前に考えておく必要があります。就職活動に入ると、厳しいスケジュールやストレスに押され、なぜ自分が就職活動をしているかわからなくなり、迷路に入り込む学生が必ず出てきます。また、内定取得を最優先に活動した結果、就職してから強い不満や違和感をもつ新入社員が増えているという指摘があります。実際に、内定を複数得て当課に相談に来る学生でも、内定先の業種が全く異なるというケースが目立つようになっていきます。このような現象は、早期離職にもつながりやすく、好ましくありません。家族、友人、大学の指導教員、就職指導課と相談しながら、就職に対する考え方を早い時点で固めてほしいと思います。

3 国際関係学部・短期大学部（三島校舎）の就職支援

本学部では、様々な就職支援プログラムを設置しています。支援講座（P.15参照）は、学部3年生・短大1年生を主な対象としていますが、近年重視されてきているインターンシップや低学年を対象とした講座、公務員志望者向けの対策講座も展開しています。また、就職指導課においては、個別の就職相談、履歴書・エントリーシート（ES）の添削指導、面接指導などを実施していますので、積極的に利用していただきたいと思います。

4 内定を得るためには

就職活動の準備項目は、業界・職種の研究、自己分析を通じた自分の強み・弱みの把握、志望動機の形成、基本マナーの修得、入社試験（SPIなど）対策、面接試験対策など多岐にわたります。本学の支援プログラムでも体系的に扱っています。また、履歴書、ES、小論文等を書く際には、国語の基本的能力が求められます。国語力は、ビジネス文書の作成力や読解力に直結するため、選考で注視される点です。大学での資料読解やレポート提出を通して、日本語（就職先によっては外国語）の能力を高めてほしいと思います。

しかし、採用側が最も重要視する項目は、働く上で求められる基礎的な能力です。企業の人材採用方針によって重みの違いはありますが、対人関係能力（コミュニケーション能力）、主体性・積極性、誠実さ、熱意、責任感といった根本的な力を面接などでチェックしています。また、経済産業省が提唱している「社会人基礎力」という考え方も就職活動では参考になりますので、必ず目を通してください。（<http://www.meti.go.jp/policy/kisoryoku>）。このような力は一朝一夕に身に付くものではありません。学習・研究、友人との交流、課外活動、アルバイト、趣味、留学、地域貢献など、学生時代にできる様々な経験を有効に活かし、社会人として活躍できる力をつけていくことを強く期待します。

5 保護者の皆様へ

保護者の皆様には、ご子息・ご息女の就職活動を温かく見守り、支えていただくようお願い申し上げます。お子様がどのような就職活動に取り組まれているかを知り、適宜、声かけや示唆をしていただきたいと思います。なぜなら、保護者の方々はずっとお子様の成長を見守ってきた最高のメンター（指導助言者）であるからです。



国際総合政策学科
2016年3月卒業
望月 一貴
株式会社ベニンシュラ東京
に勤務

唯一無二の大切な時間を演出するエンターテイナー“ホテルマン”

私の就職活動は中学生の時から始まっていたと思っています。超一流ホテルで働きたいという想いで、大学4年間は、一般教養から専門性、英語・中国語を中心に学び、外部での英会話スクールに通い続けました。日々進化する挑戦魂と共に授業では一言も漏らすことの無いくらい注意深く耳を傾けていました。そして、高校3年生から大学卒業までの5年間、ホテルのレストランで働きながら腕を磨き、資格取得にも励みました。

2015年3月の就職活動開始直前まで一番力を入れたのは“エントリーシート”でした。
私はエントリーシートを記入する際、“眼を通していただきありがとうございます”の気持ちを伝えるように心掛けました。豊かな表現力や写真の選定、日々の過ごし方次第では、人事の方への伝わり方が大きく変わってくるため、試行錯誤ばかりでした。私は普段何気ない毎日や小さな事実を大切にすることを心掛けることで、より充実した体験を書けることを学びました。その積み重ねは、オリジナリティの追求や人間力の向上にも繋がっていました。1次試験へ進むための、ただの1枚の紙ではなく、“1通のラブレター”のように愛と情熱を込めて書きました。そして、大学やアルバイト先他、多種多様な方々と接する機会に恵まれ、良い方向へと導いてくれたことが今では貴重な時間となり、就職活動に活かすことができた実感しています。学業4年間と就職活動は、自分を成長させる大切な機会となりました。22年間、支えて頂いたことに感謝をし、これから出逢う方々に「恩返し」していきたいと思っています。



国際教養学科
2016年3月卒業
大湖 羽純
静岡県庁富士山世界遺産課
に勤務

焦らず、夢に向かって確実に前進

私は大学に入学する前から地方公務員である両親に憧れ、自分も地方公務員になりたいと考えていました。入学後は1年生の時から公務員講座を受講していましたが、1年から3年の夏までは部活やアルバイトしていたことや、二度の短期留学をしていたということもあり、本格的に公務員試験の勉強に力を入れ始めたのは3年生の秋でした。

部活やアルバイト、そして短期留学の経験を通じて、私は積極性や協調性、一つの価値観にとらわれない広い視野を身に付けることができました。これらは自己PRなどをする際に、自分の性格や長所の根拠とすることができ、話に説得力を持たせることができました。留学経験はその後の自分の自信にもなったため、私にとっては大変意義のあるものであったと感じています。

公務員試験の勉強をする中で最も苦労したことはモチベーションの維持でした。長期間の試験勉強でストレスが溜まり、何度も挫折しそうになりました。そのような時は、同じ公務員志望の友人と一緒に勉強をしたり、情報交換をしていました。特に試験直前期は焦りが募っていたので、友人の存在は心の支えになりました。

私は現在、静岡県庁で富士山の安全対策業務に携わっています。登山の経験もなく、分からないことの連続ですが、周りの方々に支えていただきながら一步一步前進していこうと思っています。公務員に興味がある方は、早めに目標を据えて勉強に取り組むことが大切です。試験までの道のりは長いですが、夢に向かって確実に前進してほしいと思います。



ビジネス教養学科
2016年3月卒業
鈴木 菜月
三島信用金庫
に勤務

仕事に活かすための資格を取得

私は、3月に日本大学短期大学部ビジネス教養学科を卒業し、4月から三島信用金庫に勤務しています。

高校生の頃、将来地元で貢献できるような仕事に就きたいと思い大学の選択に悩んでいたところ、先生から本学を勧められ、進学しました。大学では、社会に出てから役に立つようなビジネスマナー、資格取得のための授業を中心に履修しました。少人数の授業のため先生に質問がしやすく、また先生の授業も細やかで分かり易かったです。私は、簿記や医療事務などの資格を取得することができ、これらの資格は仕事にも活かすことができています。

また、学生生活は勉強だけでなく、バイトや友達との付き合いなど、毎日がとても充実したものであり、あっという間の2年間でした。

1年生の夏休みには、2週間三島信用金庫のインターンシップに参加し、実際の仕事を体験し、「ここで働きたい！」と強く思いました。1年生の3月から本格的に就職活動を始めました。就職活動中は、就職指導課で面接練習や履歴書の添削等就職活動サポートを受けられたおかげで、6月には希望していた会社内に定をいただくことができました。

今、自分が希望していた会社で仕事ができていることに感謝し、大学で学んだことを活かしながら、地域に貢献できるような仕事をしていきたいと思っています。



食物栄養学科
2016年3月卒業
地引 捷人
静岡県東伊豆立学校給食センター
に勤務

食物栄養学科は、サポート面が充実!!

以前から食に関係ある仕事に就きたいと思っていた私は、食物栄養学科2年次の時、校外実習の事前指導で小学校の栄養教諭の先生の話聞き、将来、小・中学校の栄養士になりたいと思うようになりました。

学校の栄養教諭になるためには、まず公務員試験に合格し、静岡県の正規職員となり、さらに学校栄養職員として実務経験を積まなければなりません。合格するために先生からアドバイスを受け、効率よく勉強することができたことで、1次試験・2次試験を通過、無事内定をいただくことができました。

現在は、本年4月から学校栄養職員として静岡県東伊豆立学校給食センターで働いています。同センターは小学校3校、中学校2校の全5校、合計約800食の給食を提供しており、献立作成、発注処理、衛生点検、工程表と同線図の作成、放送原稿の作成、配膳表の作成など給食管理で行うことをはじめ、味や異物混入の確認、学校の非常勤教員の食数管理なども行っています。

在学生の皆さん、食物栄養学科には自分のやりたいことをサポートしてくれる先生方や仲間がたくさんいます。皆さんのこの大学で自分の夢を叶えてみて下さい！



専攻科食物栄養専攻
2016年3月卒業
山関 理佐子
富士産業株式会
社に勤務

就職活動は積極的な姿勢で！

私は小さい頃からお菓子や料理作りが好きで、それがきっかけで「栄養バランスも考えて料理を作れるようになったらいいな」と思うようになり、栄養士を志すようになりました。食物栄養学科に入学後、将来は管理栄養士を目指すために本学専攻科食物栄養専攻に進学しました。

専攻科では、4年制大学の卒業論文に相当するゼミの研究活動に忙しい日々の中、就職活動も始めました。まず就職指導課にある求人票は常にチェックするように心掛け、少しでも興味を持った企業は自分で調べ、積極的に就職活動に取り組んだ結果、内定をいただくことができました。

在学生の皆さん、早い段階から興味のある企業に目をつけ、積極的に行動することをお勧めします。様々な企業の説明会に参加し、各企業の業務内容などを十分に把握することも大切です。また、学生時代のアルバイト経験は、人間関係や社会でのルールなど様々な面で勉強になりますので、就職活動にも活かされる場面が多くあります。就職指導課からのアドバイスや学生生活で得たことなどを活かし、就職活動に励んでください。

開講講座一覧（平成28年度）

日程	講座名	対象					
		学部				短大 専攻科	保護者
		1	2	3	4	1	2
4月	学部2年生対象 就職・公務員ガイダンス ～就職活動対策を先取り～		●				
	学部3年生対象 就職・公務員ガイダンス ～就職活動準備、筆記試験対策の重要性～			●			
	保護者対象 就職ガイダンス ～知っておくべき就職情報～						●
	ビジネス教養学科2年生対象就職ガイダンス ～選考前の就職指導課活用方法～					●	
	学部・短大1年生対象就職・公務員ガイダンス ～今から知る就職活動状況～	●				●	
	食物栄養学科2年生対象 就職ガイダンス ～選考前の就職指導課活用方法～					●	
	学部4年生対象 就職ガイダンス ～選考前の就職指導課活用方法～				●		
	SPI対策模擬試験 ①	●	●	●	●	●	●
5月	一般常識テスト	●	●	●	●	●	●
	第1回業界セミナー（保険） 保険業界の仕事を知ろう	●	●	●	●	●	●
	インターンシップ対策講座 就職情報サイト登録及び活用講座	●	●	●		●	
	第2回業界セミナー（卸売） 卸売業界の仕事を知ろう	●	●	●	●	●	●
	エントリーシート対策・書き方講座		●	●		●	
6月	第3回業界セミナー（物流） 物流業界の仕事を知ろう	●	●	●	●	●	●
	企業選びの参考とする 新聞、ビジネス誌の読み方講座	●	●	●		●	
	TOEIC説明会	●	●	●		●	
	第4回業界セミナー（運輸・観光） 運輸・観光業界の仕事を知ろう	●	●	●	●	●	●
	有用資格紹介セミナー	●	●	●	●	●	●
	第5回業界セミナー（金融） 金融業界の仕事を知ろう	●	●	●	●	●	●
	第6回業界セミナー（宿泊） 宿泊業界の仕事を知ろう	●	●	●	●	●	●
7月	職種研究講座	●	●	●		●	
	世界遺産検定（第24回 3級）	●	●	●	●	●	●
	海外留学者就職ガイダンス	●	●	●		●	
	基礎編 マナー講座（電話・企業訪問）	●	●	●		●	
	適職診断テスト	●	●	●		●	
5月 8月	SPI試験対策講座（言語）全15回	●	●	●	●	●	●
	SPI試験対策講座（非言語）全15回	●	●	●	●	●	●

日程	講座名	対象					
		学部				短大 専攻科	保護者
		1	2	3	4	1	2
9月	P C M講座（初級講座）	●	●	●	●		
	学部3年生・短大1年生対象 就職活動実践講座スタートガイダンス			●		●	
	自己PR作成のための自己分析講座			●		●	
	履歴書作成準備講座 ～自己PR編～			●		●	
10月	履歴書作成準備講座 ～学生時代に力を注いだこと編～			●		●	
	志望動機作成のための自己分析講座			●		●	
	履歴書作成準備講座 ～志望動機編～			●		●	
	選考体験講座 ～会社説明会編～			●		●	
	面接対策講座			●		●	
	選考体験講座 ～面接マナー編～			●		●	
	保護者就職相談会（講演・個別相談）						●
11月	履歴書書き方講座（作成方法）			●		●	
	リクルートファッション講座	●	●	●		●	
	マナー講座（企業訪問編）	●	●	●		●	
	マナー講座（電話編）	●	●	●		●	
12月	集中講座 ① （模擬面接・グループディスカッション講座）			●		●	
	公開模擬面接			●		●	
	履歴書書き方講座（添削）			●		●	
	内定者報告会	●	●	●		●	
	世界遺産検定（第26回 3級）	●	●	●	●	●	●
1月	学部2年生対象 今から始める就職活動準備ガイダンス		●				
	学部3年生・短大1年生対象 就職活動開始前最終ガイダンス			●		●	
2月	集中講座 ② （模擬面接・グループディスカッション講座）			●		●	
	SPI対策模擬試験 ②	●	●	●		●	
	エントリーシート添削模試	●	●	●		●	
	静岡県内就職希望者対象準備講座	●	●	●		●	
	女子学生限定メイク講座	●	●	●		●	
3月	実践！業界・企業研究講座			●		●	
	企業人事担当者による模擬面接			●		●	
	就職活動直前セミナー			●		●	
	日本大学合同業界研究会・就職セミナー			●		●	
	学内合同企業説明会			●		●	
10月 2月	SPI試験対策講座（非言語）全15回	●	●	●		●	
	SPI試験対策講座（言語）全15回	●	●	●		●	

公務員試験対策講座

講座一覧

- ・公務員試験入門講座（教養科目） 1、2年生
- ・公務員試験入門講座（専門科目） 1、2年生
- ・公務員試験対策講座（教養科目） 主に3年生
- ・公務員試験対策講座（専門科目） 主に3年生
- ・集中特訓講座 3年生
- ・直前対策講座 4年生

過去3年間の公務員試験合格者

- (1) 国家公務員 一般職：厚生労働省静岡労働局
- (2) 国家公務員 専門職：国税庁東京国税局国税専門官
- (3) 国家公務員 特別職：自衛隊一般幹部候補生
- (4) 地方公務員 上級職：静岡県、政令指定都市（静岡市、相模原市）
- (5) 地方公務員 上級職：三島市、沼津市、富士市、磐田市、津市、日立市、桐生市など
- (6) 地方公務員 保安職：静岡県警、警視庁、神奈川県警、東京消防庁、静岡市消防局など

国際関係学部

建設業

旭化成ホームズ(株)
(株)一条工務店
住友林業(株)
セキスイハイム東海(株)
積水ハウス(株)

製造業

アイシン精機(株)
(株)おやつカンパニー
科研製業(株)
(株)コーセー
サンデンホールディングス(株)
シマダヤ(株)
蛇の目ミシン工業(株)
(株)シャンソン化粧品
東京特殊電線(株)
(株)虎屋
日本ケミファ(株)
バンドー化学(株)
(株)ホテイフーズコーポレーション
矢崎総業(株)
ヤマダ食品(株)
米久(株)
ルネサスエレクトロニクス(株)

電気・ガス・熱供給・水道業

東京瓦斯(株)

情報通信業

(株)アイエスエフネット
(株)アルパイトタイムス
ディップ(株)
東京コンピュータサービス(株)
トランス・コスモス(株)
ヤマトシステム開発(株)

運輸業・郵便業

(株)天野回漕店
ANAウイングス(株)
小田急電鉄(株)
京王電鉄(株)
東海旅客鉄道(株)
佐川急便(株)
静岡鉄道(株)
清和海运(株)
センコー(株)
全日本空輸(株)
全農物流(株)
名古屋臨海高速鉄道(株)
日通NECロジスティクス(株)
日本航空(株)
日本通運(株)
東日本旅客鉄道(株)
福山通運(株)
(株)富士ロジテック
(株)丸和運輸機関
ヤマト運輸(株)

卸売業・小売業

青山商事(株)
(株)エスエスケイ
(株)遠鉄ストア
(株)大塚家具
(株)大塚商会
(株)カインズ
(株)カワチ薬品
関東日本フード(株)
(株)クリエイトエス・ディー
(株)コジマ
コネクショ(株)
(株)ザラ・ジャパン
(株)ジェイアイエヌ
(株)JTB商事
(株)静岡伊勢丹
静岡日産自動車(株)
静岡トヨペット(株)
資生堂販売(株)
シネックスインフォテック(株)
(株)しまむら
(株)シーマ
鈴与商事(株)

タワーレコード(株)
(株)TTC
DCMダイキ(株)
トヨタカローラ静岡(株)
長崎トヨペット(株)
日産プリンス静岡販売(株)
ネッツトヨタ静岡(株)
ネッツトヨタ横浜(株)
(株)ノジマ
(株)羽田エアポートエンタープライズ
(株)ビックカメラ
富士ゼロックス静岡(株)
ブックオフコーポレーション(株)
プラス(株)
(株)富士通パーソナルズ
(株)ベシシア
ホシザキ東京(株)
マックスバリュ東海(株)
マツダパーツ(株)
三菱電機住環境システムズ(株)
(株)明治屋
(株)三越伊勢丹
(株)ヤナセ
(株)ユナイテッドアローズ

金融業・保険業

(株)足利銀行
SMB Cコンシューマーファイナンス(株)
SMB C日興証券(株)
SMB Cフレンド証券(株)
岡三証券(株)
鹿児島信用金庫
かながわ信用金庫
(株)関西アーバン銀行
(株)京都銀行
近畿労働金庫
(株)群馬銀行
甲府信用金庫
滋賀県信用組合
(株)静岡銀行
(株)静岡中央銀行
(株)清水銀行
城北信用金庫
(株)常陽銀行
住友生命保険(相)
スルガ銀行(株)
静岡信用金庫
損害保険ジャパン日本興亜(株)
第一生命保険(株)
(株)大光銀行
高崎信用金庫
(株)中国銀行
(株)筑波銀行
(株)東和銀行
東京海上日動火災保険(株)
東京センチュリーリース(株)
(株)徳島銀行
(株)栃木銀行
(株)トマト銀行
(株)長野銀行
日本生命保険(相)
沼津信用金庫
野村證券(株)
(株)八十二銀行
富国生命保険(相)
富士信用金庫
富士宮信用金庫
三島信用金庫
三井住友海上火災保険(株)
三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株)
(株)武蔵野銀行
焼津信用金庫
(株)ゆうちょ銀行

不動産・物品賃貸業

(株)オープンハウス
住友不動産販売(株)
三井不動産リアルティ(株)
三菱UFJ不動産販売(株)
(株)レオパレス21

宿泊業・飲食サービス業

アパホテル(株)

(株)京王プラザホテル
(株)静岡中島屋ホテルチェーン
(株)東京ドームホテル
(株)トリドール
(株)ニュー・オータニ
(株)プリンスホテル
(株)プロンコビリー
(株)ペニンシュラ東京
(株)松屋フーズ
(株)物語コーポレーション
リゾートトラスト(株)

生活関連サービス業・娯楽業

(株)エイチ・アイ・エス
近畿日本ツーリスト(株)
(株)ジェイアール東海ツアーズ
(株)JTB首都圏
大和リゾート(株)
(株)びゅうトラベルサービス

教育・学習支援業

茨城県教育委員会
国立群馬大学付属中学校
静岡県教育委員会
(株)湘南ゼミナール
(学)聖コゼツ学園日星高等学校
(株)東京リーガルマインド
(株)トライグループ
(学)日本大学
日本大学東北高等学校
日本大学藤沢高等学校
日本大学三島高等学校
(学)沼津学園 飛龍高等学校

複合サービス事業

あいづ農業(協)
伊豆の国農業(協)
伊豆太陽農業(協)
大井川農業(協)
柏崎農業(協)
かながわ西相農業(協)
御殿場農業(協)
清水農業(協)
南駿農業(協)
西美濃農業(協)
日本郵便(株)
北海道農業協同組合中央会
三島商農農業(協)

サービス業(他に分類されないもの)

ANAスカイビルサービス(株)
(株)グオホールディングス
(株)スタジオアリス
セコムジャスティック(株)
総合警備保障(株)
(株)トーカイ
(株)ノバレーゼ
(株)パンナグループ

公務

茨城県警察本部
茨城県日立市消防本部
沖縄県南城市役所
神奈川県川崎市消防局
神奈川県相模原市役所
岐阜県警察本部
静岡県静岡市役所
静岡県静岡市消防防災局
静岡県庁
東京消防庁
新潟県警察本部
兵庫県丹波市役所
防衛省 海上自衛隊
防衛省 航空自衛隊
防衛省 陸上自衛隊
北海道警察本部
北海道札幌市役所
山形県山形市消防本部

短期大学部(三島校舎)

製造業

サンワフーズ(株)
(株)菓桐
富士産業(株)
(株)若菜

情報通信業

(株)テクノシステムズ

卸売業・小売業

(株)アスモフードサービス
アリス薬局グループ
アニヴァーサリースイーツ ハピネス
(株)アンセム
(株)クリエィティブ
(株)三鮮商事
(有)シェ・イリエ
(株)ジャパンビバレッジホールディングス
静岡トヨペット(株)
(株)駿豆給食センター
(株)千足屋総本店
ダイハツ沼津販売(株)
(株)東平商会
日清医療食品(株)
ネットヨタスルガ(株)
フジ産業(株)
(株)マルコ
(株)メディオ薬局
菱電商事(株)
(株)レクトン

金融業・保険業

ダイレクトワン(株)
三島信用金庫

不動産・物品賃貸業

(株)ミニミニ

宿泊業・飲食サービス業

エムサービス(株)
関西観光開発(株)
(株)グリーンハウス
シダックス(株)
シダックスフードサービス(株)
西洋フード・コンパスグループ(株)
(株)時之栖
日本ゼネラルフード(株)
(株)富士サービス
(株)望水
(株)ホテルニューアカオ
(株)LEOC
(株)レバースト

生活関連サービス業・娯楽業

(株)平安

広告業

(株)東邦プラン

医療・福祉

(社福)愛隣会
(社福)要育会
桑名眼科クリニック
(社福)敬寿会
(医)社団公草会
(社福)さがみ愛育会
(社福)砂原母の会
(医)社団青虎会
(医)社団ちとせ会
(社福)道心
(社福)徳風会
にじいろ保育園
(社福)福聚会
(社福)富士育英福祉会
(医)社団富士恵仁会
(社福)みしま
(医)社団みなみつくば会

複合サービス事業

御殿場農業(協)

サービス業(他に分類されないもの)

あおば社会保険労務士法人
アシスト・クルー(株)
(株)クリエィティブ 食彩倶楽部
(株)ライフワーク

公務

静岡県庁
静岡県三島市役所

※産業分類別五十音順

就職先の傾向について

国際関係学部は、広く学際的な学びを展開していることから、就職先も多岐にわたっています。最も多い業界は卸売業・小売業(23.7%)、次いでサービス業(17.3%)、金融業・保険業(13.6%)の順となっています。また、学生に人気の高い公務員、教育、観光・宿泊各業界にも一定の成果を出しています。最近の求人では、業界や企業規模にかかわらず、主体的行動力やコミュニケーション能力に加え、国際的対応力を高く評価する傾向が顕著です。これらの基礎能力は、当学部が用意する各種のカリキュラムをきちんと消化すればおのずと身に付く力であり、1年次から真剣に学習に取り組んでほしい理由です。

短期大学部(三島校舎)の主な就職先は、卸売・小売業、サービス業のほか、医療・福祉業界へ就職者が多いのも特徴です。短期大学部生は1年次から就職活動を開始しなければならないため、卒業後の進路を入学後早急に決定し、学業に取り組む必要があります。

静岡県内への就職状況は、全就職者のうち、学部が約26%、短期大学部が約46%となっていますが、地域限定職の採用でも本学が県外にある企業は調査上除外されますので、実際にはこの数値よりかなり高いと思われます。